

第1回課題解決部会(3/22) 主な意見

R3.4.13

解決策(案)	内 容
企業とのコラボ	加古川市と(株)セブンイレブン・ジャパンとの地域活性化包括連携協定:企業を巻き込むという新しい挑戦。連携のチャンス。企業とのコラボ、企業側はCSR(企業の社会的責任)の一環にもなる。CSRはSDGsと関係がある。そういった取組が増えているので課題解決の鍵になるのでは。
資源を使う (マンパワー)	使えるもの(資源)は使う。特に若い従業員の人たち。住んでいなくても在勤の人たちはある程度土地勘もあるので、マンパワーとして期待できる。
インタープリター(通訳者)	「行政の認識と住民の認識が違う」という、うまく通訳してつなぐインタープリターがいない、という問題。そういった人材が必要だと意識して、位置づけていく必要がある。
言葉の定義	前のビジョンでは「地域のみんなで」と耳当たりの良い言葉が並んでいるが、その「みんな」の中に外国人やLGBTの方も含めて考えられていたかどうか、言葉の定義や突き詰め方が浅かったのではないか。
プロモーションの発信力	課題解決のヒントとして、プロモーションなどの発信力。
新しい住民の呼び込み	新たな住民はどうやって呼び込むか。協働と参画で外国人、大学生、都市型の考え方を持って、人をどのように呼び寄せるか。この地域の課題解決にどう関わってもらうのか。
土地利用	市街化区域の話もあるが、いわゆるモザイク化の問題も合わせて、土地利用の問題。もう少し広域で考えていても良い。市単独、町単独の話を超えてきそうな話。
防災	防災。南海トラフ。40年以内に必ずやってくる。それに断層型地震がないとも言い切れない。そして風水害。市町行政では議論がされているので、またご意見をいただく。
観光	「観光」もコロナの影響でこれから変わってくる。キレイなものを見て飲食してお金を落とす、と言うよりは、もう少し地元と関わるような観光に。 20年前はあまり観光を考えてこなくて良かった。製造業や自然を守るだけで良かったのが今はそれを生かして観光をしていくという。製造業を生かして工場観光のようなそういうところに持っていきたいというところ。20年前にはなかった課題の一つ。

<p>シェア</p>	<p>キーワードとして「シェア」や「シェア経済」があるのか。自治体も個人も、自分のところだけでフルセット持って完結するよりは「シェアハウス」とか「カーシェア」、自治体では「連携」とか「相互乗り入れ」とかが、徐々に浸透しつつある。その周辺にあるのが、例えばフードバンクの取組や家具のリサイクル販売など。リサイクルやリユースなど、あるものを回して使うという習慣も広がってきた。</p>
<p>2050年のものづくりのイメージ</p>	<p>2050年の「ものづくり」のイメージについては、何か出てきているか？ おそらく、30年後はエネルギー、航空といった分野のイメージ</p>